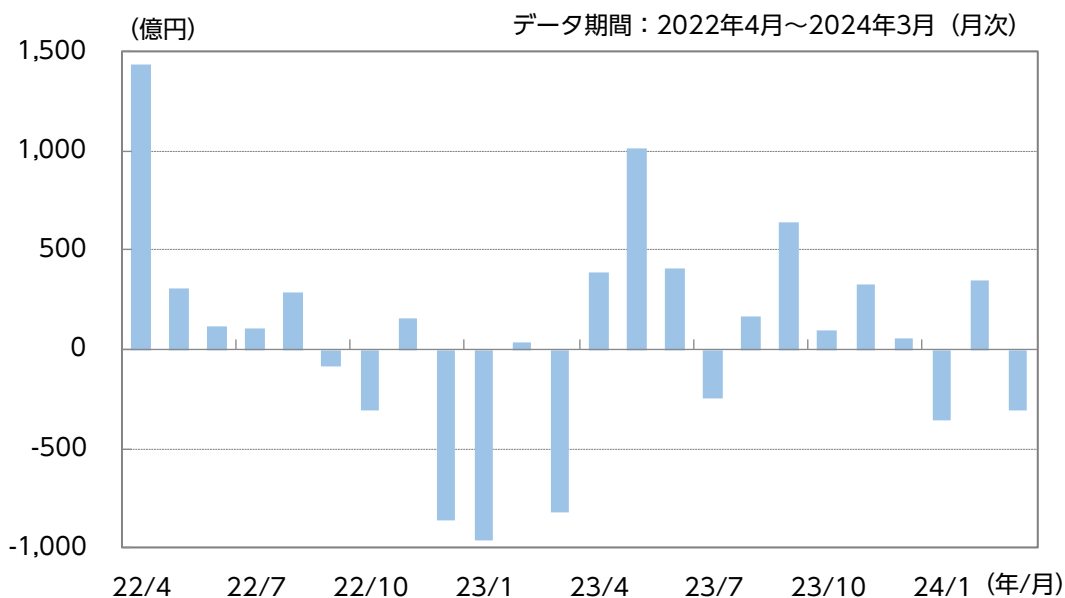




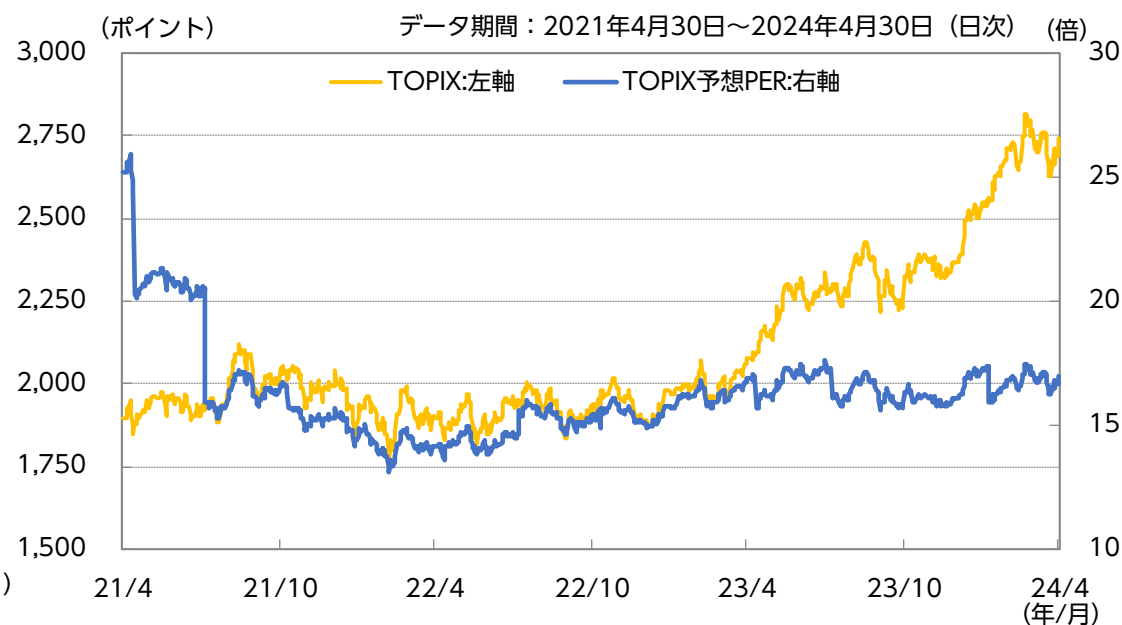
- 4月の国内株式市場(TOPIX)は下落しました。
- 3月の外国人投資家による国内株式売買状況は、売り越しとなりました。割高・割安の尺度となる予想PERは、2024年4月末時点で17.0倍となっています。
- 急激な相場上昇の反動などから目先は軟調な展開が予想されるものの、引き続き半導体を中心とした設備投資拡大への期待や、円安効果によるインバウンド需要の回復などを支えに、中長期的には上昇基調で推移すると予想。

【外国人投資家の国内株式売買状況】



※東証プライム市場の売買状況

【TOPIXと株価収益率の推移】



出所) ブルームバーグ及び東京証券取引所(投資部門別売買動向) データをもとにニッセイアセットマネジメント作成

ご留意いただきたい事項 ●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。●投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。●当資料に記載されている内容は作成日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。●当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。